

自治体施設管理のDX推進に向けたご提案

PEACE LOCK

Facial
Recognition





本日のテーマ

- ・自治会の課題

人手不足／鍵管理の負担／防犯の不安

- ・ピースの解決

鍵をなくす仕組み（ピースロック）
見回りを仕組みにする防犯カメラ

- ・目指す姿

人に頼らず「安心が続く」自治会運営



朝霞市犯罪認知件数

朝霞警察署 刑法犯認知件数の内訳（令和7年11月末）

- ・全刑法犯総数: 1,724件
- ・自転車盗: 533件（全体の約31%を占める最多の犯罪）
- ・オートバイ盗: 96件
- ・車上ねらい: 56件
- ・住宅対象侵入窃盗: 21件



埼玉県で多い犯罪

自動車、自転車の盗難が多く、空き巣の発生件数は
2024年には、**1,427件**確認されており、全国トップの件数です。



朝霞市周辺で起きた闇バイトによる事件

- ・埼玉県所沢市の住宅で発生した強盗致傷事件が発生。
この事件では、4人組の男が住宅に押し入り、
住人の80代の夫婦を刃物で切りつけ現金8万円を奪った。
- ・東京都練馬区の住宅で強盗傷害事件が発生。
17歳男性が先頭にバールで窓ガラスを割り住宅に侵入し、実行役らは住人の50代夫婦と20代息子に対し「金を出せ」などと脅迫し、夫と息子は怪我を追った。
腕時計11本や現金5千円など、計120万円相当が奪われた。





公共施設における安全管理の現状

- ・ コミュニティセンター・集会所は、大きな事件は少ない
- ・ いたずらや破損などのトラブルは発生
- ・ 役員・利用者双方の安全管理は必要
- ・ 人手は増えず、管理負担は残る
- ・ 日本の防犯カメラ設置数は海外に比べ少なく、まだ増やす余地がある



ピースロック（鍵管理をなくす）



「鍵の受け渡し」をゼロに。

デジタルの力で、集会所管理を
「もっと楽に、もっと安全に」

- ・集会所・倉庫を鍵レス化
- ・暗証番号・IC・顔認証で簡単に解錠
- ・誰がいつ使ったか履歴で管理
- ・紛失ゼロ、引き継ぎ不要、
管理の見える化



防犯カメラでできること



- ・いたずら・破損の記録
- ・夜間の抑止効果
- ・地域の見守り
- ・事故やトラブル時の事実確認
- ・周辺カメラの映像をもとに、
事後対応や捜査協力につながる
- ・利用者の安心



本日お伝えしたこと

人が減っても、役員が変わっても、高齢化が進んでも、

自治会の安心は
人ではなく「仕組み」で守れる。

- ・鍵をなくす仕組み 一ピースロック
- ・見回りを仕組みに 二防犯カメラ

これからの自治会運営は、
「人が頑張る」から「仕組みに任せる」へ。